

# すこやかちゃん



**健太ちゃん** (平成17年12月23日生)  
 両親／小出朋之・るり子さん〔鎌数〕  
 「パパママ見て！寝返りできたよ！」



**美琴ちゃん** (平成15年10月4日生)  
 両親／堀江隆・登志江さん〔萬歳〕  
 「私は三輪車とすべり台が大好き！  
 今日はお部屋でハイポーズ！」



**智啓ちゃん** (平成17年6月10日生)  
 両親／高野啓源・綾子さん〔井戸野〕  
 「プール大好き！すべり台も大好き！  
 ほくは、我が家のアイドルさ。」

## \*すこやかちゃんを募集しています\*

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報広聴班（〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070）へ。  
 対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



## 紙上展示室―旭モノ語り―第十三回

# 七夕馬・七夕牛

七夕行事といえば、笹竹に短冊をさげて星に願いをかける星信仰が一般的ですが、もともと千葉県の七夕は、よく知られる彦星と織姫の伝説とはあまり関係ない行事でした。お盆に先祖をお迎えして、豊作を祈願するというのが、この地域に古くからある七夕です。祖霊を迎えるため、お盆の一週間前に行われるのが普通でした。しかし、明治六年に新暦に変わったとき、お盆は月遅れの八月に、七夕は七月になってしまったために、昔のような風習は薄れてしまったのです。



▲七夕馬

今は消えてしまった七夕のシンボル、それが今回紹介する馬と牛です。祖霊信仰による七夕では、祖先を迎える乗り物として、ワラやマコモで馬や牛をつくる風習がありました。仏様やご先祖様が乗ってくるようにとか、牛馬を飼っている農家では、餌となる飼葉を運ぶために早起きできるようにするためなど、地域ごとにその伝承も少しずつ違いがあります。

牛馬の形状や、飾り方もいろいろ。牛と馬を一对、雄と雌とで一組したり、タテガミを違う材料で飾りつけたりする例もあります。さて、実際はどんなふうにして

行われます。馬のかわりに、にぎやかなお祭りでご先祖様をお出迎えしましょう。

参考文献『千葉県の七夕馬―草で作ったウマとウシIII・IV―』房総のむら企画展示図録

〔大原幽学記念館 猪野映里子〕

## 暮らしのカレンダー

- 1日(火) 矢指ヶ浦・飯岡海水浴場、飯岡海浜プール開設中（～20日(日)）
- 6日(日) 七夕市民まつり（～7日(月) 中央商店街路上ほか）  
 天の川ライブフェスティバル（11:30～ 東総文化会館）
- 15日(火) 戦没者を追悼し平和を祈念する日

## 編集後記

暑さも厳しくなってきたこの時期、書店でよく目にするのが子ども向けの工作の本。小学生の子どもを持つ方ならすぐに分かると思いますが、子どもが夏休みを利用して作る科学工作の参考として、手に取ってみた方もいるのではないのでしょうか。うちでも、工作をするのは子どもですが、何をどうやって作るのかを、1日ぐらいいっしょになって考えます。ここ何年か続いているすごく小さな夏のイベントとして、少しの間楽しい時間が過ごせます。(S)